



HIROSHIMA SYMPHONY ORCHESTRA
～広響、新時代～

Hiroshima Symphony Orchestra the 20th Subscription Concert in Hatsukaichi

さくらびあ開館20周年記念事業

広島交響楽団

第20回廿日市定期演奏会

2017年4月23日 [日] 15:00開演 (14:30開場)

※はつかち文化ホール さくらびあ 大ホール

ソプラノ 佐藤しのぶ

Soprano
Shinobu Sato

指揮 現田茂夫

Conductor
Shigeo Genda

©K.Miura

チャイコフスキー

*佐藤しのぶ共演曲

バレエ音楽「眠りの森の美女」組曲 Op.66a～ワルツ
Tchaikovsky: The Sleeping Beauty Suite Op.66a, "Waltz"

弦楽セレナード ハ長調 Op.48
Tchaikovsky: Serenade in C major, Op. 48

グノー

歌劇「ファウスト」～ワルツ
～なんと美しいこの姿(宝石の唄)*
Gounod: Faust, "Waltz" "O Dieu! Que de bijoux... Ah! je ris de me voir si belle"

プッチーニ

歌劇「ジャンニ・スキッキ」～私のお父さん*
Puccini: Gianni Schicchi, "O mio babbino caro"

歌劇「マノン・レスコー」～第3幕 間奏曲
Puccini: Manon Lescaut, "Intermezzo"

歌劇「蝶々夫人」～ある晴れた日に*
～かわいい坊や*
Puccini: Madama Butterfly, "Un bel di, vedremo" "Tu, tu, piccolo iddio"

チャイコフスキー

幻想的序曲「ロメオとジュリエット」
Tchaikovsky: Romeo and Juliet Fantasy Overture

※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する場合がございます。

入場料 全席指定 (税込)

S席5,000円/A席4,000円/B席3,000円/
学生席1,500円 (B席のみ)

*未就学児の入場はご遠慮ください。
*学生席はさくらびあ事務室、広響事務局のみの取扱いで、割引はありません。
*さくらびあオンラインチケットの取扱いはありません。

チケット発売日 さくらびあ倶楽部会員/2月5日 [日]
一般/2月12日 [日]

さくらびあ倶楽部会員/1割引 (さくらびあ事務室または、お電話購入のみとなります。ポイント対象外)

広響会員/1割引 (さくらびあ事務室、広響事務局のみ。当日の割引はありません)
ちゅーピーくらぶ/1割引 (中国新聞社読者広報部、中国新聞販売所 (取り寄せ)、さくらびあ事務室、広響事務局のみ。当日の割引はありません)

プレイガイド エディオン広島本店、フジグランナタリー、さくらびあ事務室、ローソンチケット (Lコード62117)、チケットぴあ (Pコード319-487)、中国新聞社読者広報部、中国新聞販売所 (取り寄せ)、広響事務局

■主催: 公益財団法人廿日市市文化スポーツ振興事業団、公益社団法人広島交響楽協会、中国新聞社

■特別協賛: 中国電力
■協賛: ウッドワン、デリカウイング、フマキラー、山崎本社
■後援: 廿日市市、廿日市市教育委員会

お問い合わせ/さくらびあ事務室 ☎0829-20-0111、広響事務局 ☎082-532-3080

[アクセス] 広島宮島線「廿日市市役所前」駅から徒歩7分 ※駐車場には限りがあります。ご来場は公共交通機関をご利用ください。

すべてを包むメロディー ～愛と平和への想いをこめて

記念すべき20回目の廿日市定期に、日本を代表するソプラノ歌手、佐藤しのぶが出演決定！
慈愛に満ちた音楽のメッセージを紡ぎます。現田茂夫は愛の祈りを込めて、
チャイコフスキーの傑作を捧げます。

指揮 現田茂夫 Shigeo Genda, Conductor

東京生まれ。東京音楽大学指揮科で汐澤安彦、三石精一両氏に師事。その後東京藝術大学で佐藤功太郎、遠藤雅古両氏に師事。1985年安宅賞受賞。
86年二期会オペラ「ヘンゼルとグレーテル」でオペラ・デビュー後、「こうもり」等で二期会オペラで活躍する一方、オーケストラコンサートでも実績を積み。
96年より13年間神奈川フィルハーモニー管弦楽団を指導し飛躍的に躍進させ、その功績も称えられ2009年より名誉指揮者の称号を得る。他の主要オーケストラとも数多く共演し好評を得ている。また、世界的チェリスト故ロストロポーヴィチと皇后陛下の古希祝賀コンサート等で共演し高い評価を得た。
オペラ指揮者としても経験豊かで、関西二期会、東京二期会を中心に数多くの公演を行なっている。「佐藤しのぶドラマチック・リサイタル」(全国ツアー)、「夕鶴」のカザフスタン/ウズベキスタン/東京公演、「天守物語」等、日本のオペラも積極的に行なっている。04年秋にはスロヴァキア国立歌劇場の「椿姫」を指揮し、好評を博した。02年からは錦織健プロデュースオペラの音楽監督も努め2年ごとに全国公演。11年にはアンサンブル金沢と金沢歌劇座・兵庫県立芸術文化センター他(5都市6公演)で「椿姫」の公演。14年には市川右近(現三代目市川右團次)新演出「夕鶴」の全国公演も行い高評を得、昨年再演された。
また、ベドロツィ国際指揮者コンクール(イタリア)の審査員や、NHK-FMラジオのパーソナリティを3年間務めるなどバラエティにとんだ活動を行なっている。



©K.Miura

ソプラノ 佐藤しのぶ Shinobu Sato, Soprano

日本を代表するプリマドンナ。
文化庁オペラ研修所を最年少、首席で卒業。「メリー・ウィドウ」「椿姫」に抜擢されデビュー。文化庁派遣による芸術家在外研修員としてミラノへ留学。ウィーン国立歌劇場での「蝶々夫人」を皮切りに、欧州、豪州、アメリカでのオペラ及び著名な指揮者、オーケストラとの共演多数。
1996年韓国政府から初めての日本人正式招聘歌手として、5万人のソウルスタジアムでチョンミュンフン指揮KBOと共演。
1999年ブラハで世界首脳が列席するピロード革命10周年記念第九公演、2009年4月「天皇后両陛下ご成婚50周年&ご即位20周年記念コンサート」、同年11月「天皇陛下御即位二十年をお祝いする国民祭典」に出演。
2014年1～4月「夕鶴」つう役を初主演で絶賛され、2016年2・3月に全国各地で行われた再演も大好評を博した。
文化放送音楽賞、都民文化栄誉章、ジロー・オペラ賞大賞、マドモアゼル・バルファム賞、Federazione Italiana Cuochi、日本文化デザイン賞大賞等を受賞。
<http://www.satoshinobu-ag.co.jp/>



広島交響楽団 Hiroshima Symphony Orchestra

国際平和文化都市「広島」を本拠地とし、中・四国を代表するプロオーケストラ広響は、2017年4月から下野竜也が音楽総監督を、クリスティアン・アルミンクが首席客演指揮者を務めている。2004年から2016年まで音楽監督・常任指揮者を務めた秋山和慶は、2017年終身名誉指揮者に就任した。
現在は年10回の定期演奏会、呉・福山・廿日市・島根での地域定期やディスカバリー・シリーズをはじめ、依頼公演や学校コンサート、巡回コンサートなど年間約140回を超える演奏活動を行っている。これまでに「広島市政功労賞」「広島文化賞」「広島ホームテレビ文化賞」「地域文化功労者賞(文部大臣表彰)」「第54回中国文化賞」「第17回県民文化奨励賞」「第5回国際交流奨励賞」「文化対話賞(ユネスコ)」「広島市民賞(2013年度)」を受賞。
公式ホームページ <http://hirokyo.or.jp/>

